**声明　「安倍政治」の継続、憲法改悪を許さない!**

**―憲法を守り、生かすとりくみをいっそう強めましょう!―**

安倍晋三首相は8月28日、持病の悪化を理由に辞任を表明しました。しかし、その辞任の根底には、政治を私物化し、国民の声に背いて憲法をないがしろにする安倍政権に対する批判が高まり、内閣支持率が30%(2020年5月23日毎日)を切り、第2次政権下で最低を記録し、厳しい政権運営を強いられていた実態があります。まさに、国民の「安倍政権退陣せよ」との声が辞任表明させたのです。

安倍政権は、約7年8カ月続き、2020年8月24日には連続在職日数の2798日を超え、憲政史上最長となりました。その安倍政権のレガシー（政治的遺産）は「長いだけがレガシー」で、後は全てが「負のレガシー」と言わざるを得ません。森友・加計学園疑惑や「桜を見る会」疑惑等などの政治の私物化、特定秘密保護法・集団的自衛権の行使を可能とした戦争法(安全保障関連法)・共謀罪法の制定強行などによる「戦争する国づくり」への邁進、二度の消費税増税など国民いじめの悪政推進、道半ばのデフレ脱却とアベノミクスの破綻、北方領土返還・日本人拉致問題解決などの頓挫、6年連続で防衛予算の過去最高を更新させた軍事大国化、新型コロナウイルス感染拡大阻止のための一斉休校・「安倍のマスク」配布などの非科学的で思い付き対策など、枚挙にいとまがありません。

しかも、突然の辞任表明は、新型コロナウイルス感染拡大する中で、国民の求める国会開会・審議をも拒否し続けたうえでの、第一次政権と同様の無責任な「政権投げ出し」といわざるを得ません。

この7年8ヵ月の間、戦争法廃止、安倍政治を許すなの戦後初めての市民の共同ができ、市民と野党の共同が国民に展望を示して来ました。憲法会議は、この共同のたたかいの一翼を担い、多数の皆さんとともに声を上げ続けて来ました。結果、自民党は安倍首相の在任中に改憲4項目を憲法審査会の議論のテーブルに載せることはできませんでした。私たちは、安倍政権を退陣に追い詰めたこと、安倍政権下の改憲阻止を実現できた成果を確信しあいたいと思います。

しかし、安倍首相は辞任記者会見でやり残したとの第一に「憲法改正」を上げ、「自民党の全力で取り組んでいくことを約束している」と、次の新たな体制で実現させることへの期待を述べました。同時に、「敵基地攻撃能力の保有」を盛り込んだ「安全保障政策の新たな方針」について、国家安全保障会議で協議したとして、「今後速やかに与党調整に入り、具体化を進めます」と述べ、先制攻撃を容認するさらなる9条破壊を求めています。

憲法会議は、安倍首相の森友・加計学園疑惑や「桜を見る会」疑惑等などの徹底追及に引き続きとりくむとともに、自民党をはじめとする改憲勢力が踏襲するであろう「安倍改憲」、「敵基地攻撃能力の保有」を、彼らが断念するまで全力でとりくむとともに、憲法蹂躙を許さず・憲法を暮らしと政治に生かすとりくみに全力であげます。

憲法会議は呼びかけます。共にこれらの運動を進めるとともに、近く実施される総選挙で、全国で市民の共闘体制を作りあげ、市民と野党の共闘で自民党政治と決別し、憲法を守り生かす新しい政治へと変えるため、さらに奮闘し合いましょう。

2020年9月1日

憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

〒101-0051　東京都千代田区神田神保町2-10　神保町マンション202

℡03-3261-9007　Fax03-3261-5453　メールアドレス：mail@kenpoukaigi.gr.jp